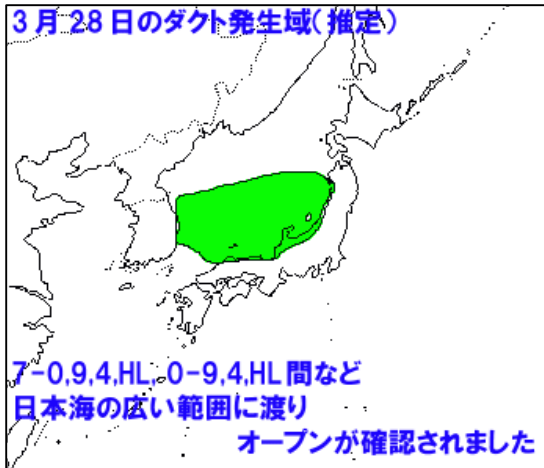


2004年初？日本海ダクト大規模オープン！

2004年3月28日JG0TEV 中村

春の移動性高気圧の通過に伴ない気温が上昇し、日本海南部を中心とした広い範囲でダクト発生によるオープンが確認されました。



JO7IZC 須藤さんからのオープン情報

19:32 JF9JAX(富山・富山市)- JO7IZC(秋田県・由利郡)
RS57-57 FM

19:45 JH9IPH(富山・富山市)- JO7IZC(秋田県・由利郡)
RS55-52 FM

20:02 HL2DIB(韓国・ソクチョ市)- JO7IZC(秋田県・由利郡)
RS59-55 FM

20:21 JG3HIP/0(新潟・糸魚川)-JO7IZC(秋田県・由利郡)
RS53-51 FM

20:26 JA9RTW(富山・黒部) - JO7IZC(秋田県・由利郡)
RS59-55 FM

22:27 JM4KBL(鳥取・西伯郡)- JO7IZC(秋田県・由利郡)
RS59-59 FM

22:26 JM4KBL-JO7IZC
*IZC 300mWハンディでもRS59-55 FM

22:55 JR4MDA(鳥取・米子市) JO7IZC(秋田県・由利郡)
RS59-59 FM

22:40 JG7EOC(山形・鶴岡) -JM4KBL(鳥取・西伯郡)
RS51-59 FM

JG0TEV移動運用結果報告

20:48 HL2DIB(韓国・ソクチョ市) -JG0TEV/0(新潟・長岡市)
RS59-59 FM

*TEV C501/ロッドアンテナ280mWでRS59-55 FM

20:59 JG9DGS(富山・氷見市) -JG0TEV/0(新潟・長岡市)
RS59-59 FM

21:53 JM4KBL(鳥取・西伯郡) -JG0TEV/0(新潟・長岡市)
RS59-59 FM

22:17 JR4MDA(鳥取・米子市) -JG0TEV/0(新潟・長岡市)
RS57-59 FM

*7-0,7-9,7-4,7-HLエリア間オープンも確認されました。

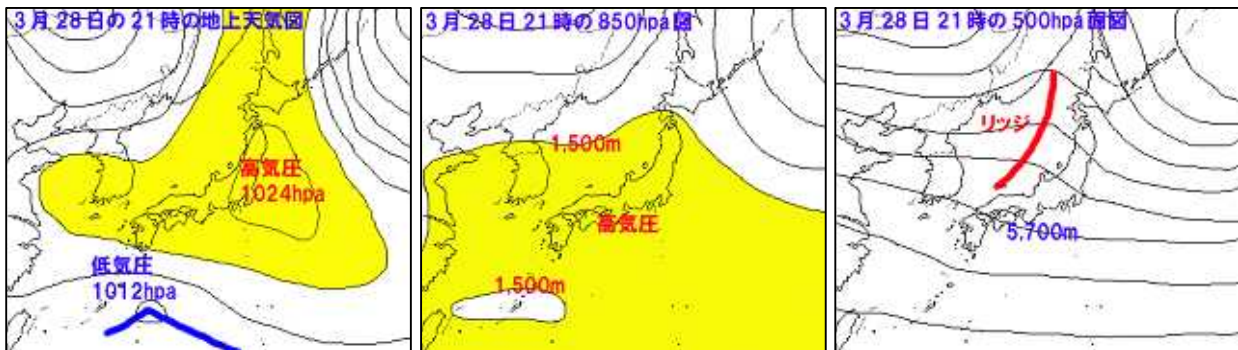
気象解析

地上天気図から移動性高気圧が日本付近を通過したことがわかります。

850hpa面では1,500mの等高度線が日本海中部まで北上しています。

さらに500hpa面では日本海に北に伸びるリッジが解析されていて、これに対応して日本付近は負渦度領域に覆われています。

これらのことから「背の高い高気圧」に覆われていたこと解析できます。



上空に流れ込んだ空気についてみると、850hpa面湿数から本州付近上空に乾燥した空気が流れこんでいたことが解析できます。

850hpa面の気温は朝鮮半島中部から日本海中部を横切って能登半島付近から紀伊半島付近を縦断しています。

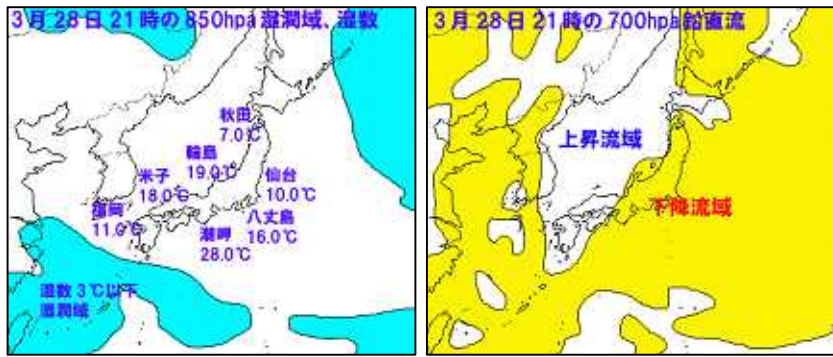
上空の気温はまだ低いため、上空高いところに逆転層は形成されにくい状態です。

しかし、この日の日中の最高気温は北陸付近でも17 ~ 20 近くまで上昇したと見られ、気温が下がる

夕方以降に冷たい海面付近近くで逆転層が形成されやすい環境に至ったと考えられます。

700hpa面鉛直流を見ると、日本付近は上昇流域となっています。

しかしこれは地上付近の空気が暖められた結果気層が膨れて生じた結果と見られます。



以上の内容をダクト発生条件判定表と対比した結果、ダクト発生条件がそろいやすい気象条件であったと解析します。